

第1回『保育博—保育・教育ビジネス&サービスフェア—』

2日間で約3,000名が来場、大盛況のうちに閉幕！

2019年6月7日(金)–8日(土) 新宿 NSビル イベントホール+3F 会議室 J

メッセフランクフルト ジャパン株式会社(東京都千代田区、代表取締役社長:梶原靖志)が新宿 NSビル イベントホールと 3F 会議室にて、東京都の後援を受けて開催した保育業界初の本格的な商談見本市『保育博—保育・教育ビジネス&サービスフェア—』が、2019年6月8日(土)、大盛況のうちに2日間の会期を終了しました。保育ビジネスを取巻く環境や状況が転換期を迎える中で、多様化する保育園、幼稚園、こども園のニーズに応えるべく開催された本見本市には、第1回にもかかわらず日本はもとよりドイツ、韓国から計106社の企業・団体が、最新の保育施設用家具・什器類から IT 技術を駆使した防犯・見守りシステム、業務効率化・経営システムまで、多岐にわたる製品やサービスを出展、約3,000名もの保育従事者、園経営者および購買担当者や業界関係者が来場しました。



【来場者数】

2019年	6月7日(金)	(曇りのち雨)	2,227名
	6月8日(土)	(曇り)	725名
	合計		2,952名

あいにくの天気にもかかわらず、初日の開幕直後から大勢の来場者が詰めかけ、会場の至るところで活発な商談が行われて熱気に満ちた開催となりました。出展者からは「来場者がこれほど多いとは思わず、初日にすでにカタログが無くなってしまった」、「具体的な質問をする来場者が多く、商談に結び付けやすかった。フォローしていくのが楽しみ」などの喜びの声が相次ぎました。

また、保育博 2019 では2日間の会期にわたって、業界の著名人によるセミナーやパネルディスカッション「主催者セミナー」が7本、園関係者の皆さまの日々の業務に直結するような知識・情報を業界のエキスパートがセミナー形式で講演する「エデュケーショナルセミナー」が計5本、さらに本見本市出展企業のうちの10社に

よる、自社製品・サービスのプレゼンテーションが開催され、人と人との出会い、そしてこれからの園の経営に役立つ最新のノウハウも提供しました。



主催者セミナーには、タレント真鍋かをり氏や、静岡第一テレビの歌のお兄さんでお馴染みのまあせんせいこと菊地政隆氏((学)菊地学園理事長)、絵本作家のあいほらひろゆき氏らの著名人が登場、大勢の聴講者を集めていました。話題のこども園園長の井内聖氏((学)リズム学園学园长 はやきた子ども園園長)と人気学園経営コンサルタントの石田敦志氏(E リソースセンター(株)代表取締役)との対談プログラム「平成の、次の時代の園と教育のあり方」、大嶽広展氏((株)船井総合研究所 保育教育支援部部长 シニア経営コンサルタント)をファシリテーターに、地理的、規模的に多岐にわたる園の経営者 5 名をパネリストに迎えたパネルディスカッション「量と質のバランス時代から質ファースト時代へ!!これから激変する保育経営のメガシフトをどうチャンスに変えるか!?!」など今後の園経営に関するプログラムは、客席数を大幅に超える 150 名以上の聴講者で溢れました。また、本見本市のメディアパートナーである(株)パスマイル主催による「第1回ベビーテックアワード発表および授賞式」も行われ、応募総数 25 社 30 商品の中から、出展者からも(株)hugmo(安全対策部門・大賞)、ユニファ(株)(安全対策部門・優秀賞/健康管理部門・優秀賞/施設向け管理システム・大賞)、(株)ポピンズ(安全対策部門・優秀賞)が受賞、大変な盛り上がりを見せていました。

3F 会議室にて開催された 5 本のエデュケーショナルセミナーも軒並み満席となりました。中でも柴田洋平氏(レーヴ法律事務所 弁護士 保育士)による「弁護士が教える 今、園に求められる危機管理・危機意識」のセッションは、幼児を巻き込む事件や事故が多発する昨今の世相を反映してか、立ち見が出るほどの聴講者を集めていました。

次回『保育博』の開催日程に関しては、今回の結果の分析、出展者、来場者からの意見を集約し、近日中に発表予定です。

『保育博』の最新情報は、以下にてご確認ください。

見本市公式ウェブサイト:www.hoikuhaku.com

『保育博』の今回開催の報道関係者向け写真素材は、以下よりダウンロードいただけます。

<https://bit.ly/2IAzVnk>

『保育博』開催概要

名称： 保育博－保育・教育ビジネス&サービスフェア
会期： 2019年6月7日(金)－8日(土)
会場： 新宿 NSビル B1F イベントホール+3F 会議室 J
主催： 保育博 2019 実行委員会
オガナイザー： メッセフランクフルト ジャパン株式会社
後援： 東京都
出展対象： <保育施設に提供する製品・サービス提供事業者>
不動産・ディベロッパー・リフォーム業者、経営コンサルタント・人材派遣サービス、保育施設用家具・什器類、乳幼児用品、保健・衛生用品・サービス、給食・食材・授乳用品・サービス、室内備品類、運輸・送迎・配送/回収、寝具・お昼寝関連製品・サービス、教員用・事務室用品、小型遊具・玩具(含知的玩具)、園庭遊具・運動用具・プール用品、防犯・見守りシステム・サービス、業務効率化・経営システム・サービス、保育園・幼稚園・こども園・保育所等設営・運営業者、プレス・出版・関連団体・専門学校・教育サービス、その他
来場対象： 保育園・幼稚園・こども園・その他の一時預かり施設などの施設設営・運営にかかわる事業者・オーナーおよびスタッフ・保育従事者、ホテル・ショッピングセンター・空港などでの子ども用の遊具施設を必要とする企業・団体、国・地方自治体関係者、保育・教育関係団体・機関各種・専門学校関係者、産院・小児科等の医療機関、小売/卸/百貨店/商社/ネット通販、その他
入場料： 事前登録・招待状持参者無料

報道関係者からのお問合せ先

メッセフランクフルト ジャパン株式会社 プレス担当: 柏木・加来

Tel. 03-3262-8453 Fax. 03-3262-8442

E-mail. press@japan.messefrankfurt.com Web. www.jp.messefrankfurt.com/

お問合せ先

メッセフランクフルト ジャパン株式会社

保育博 2019 事務局 坂東・山本・駒谷

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋 1-3-2 曙杉館 7F

Tel. 03-3262-8446 Fax. 03-3262-8442

E-mail. info@hoikuhaku.com Web. www.hoikuhaku.com

メッセフランクフルトについて

メッセフランクフルトは、自社で国際見本市会場を保有し、年間売上高約7億1,500万ユーロを誇る、世界でも有数の見本市主催会社です。世界中に30の拠点をもち、全体で2,500人*を超える従業員が働くメッセフランクフルトは、グループのネットワークを活かして各国間で連携を取りながら、各地で産業を牽引する見本市を開催しています。見本市運営だけでなく、デジタル事業にも注力しているほか、会場の貸出から、施工、マーケティング、スタッフサービスやケータリングまで、多角的に顧客企業のビジネスをサポートしています。メッセフランクフルトは、ドイツ・フランクフルトに本社を置き、同社株の60%をフランクフルト市、40%をヘッセン州が保有しています。

より詳細な情報は公式ウェブサイトをご覧ください。www.messefrankfurt.com

*2018年暫定数値